

国体代表選考会(少年の部)の実施階級・スタイルの決定方法について

- 【実施階級・スタイルの決定手順】および【強化指定選手の選考基準】に基づき、8階級中7階級7名の「強化指定選手」を選出し、実施階級・スタイルを決定する。(※「強化指定選手」を選出しない階級も有り得る)
- 教育的・総合的に判断し決定するものとする。
- 強化委員会で原案を作成し、高校総体県予選終了後、顧問総会(専門委員会)にて決定する。
- 全国高校総体、全国高校生グレコ選手権において、シード権を獲得した場合は、「申し合わせ事項」に基づき、代表選手、スタイル、階級の変更、入れ替えの可能性はある。

【実施階級・スタイルの決定手順】

- (1) 下記の<強化指定選手の選考基準>に基づき、①～④の順で該当する選手を「強化指定選手」とし、上位の者からスタイル・階級を決定する。
- (2) 選考段階で、「強化指定選手」の該当の無い階級を1階級選び、その階級の選考は行わない。この階級については、他階級とのバランスを総合的に判断し決定する。

<強化指定選手の選考基準> ※ 以下の優先順位で、該当する選手から検討を行う

- ① 全国選抜大会でベスト8以上の者
- ② 関東選抜大会・JOC大会・関東大会のベスト4以上の者
- ③ 昨年度のインターハイ、国体の代表および戦績
- ④ 県内大会(関東予選・全国グレコ予選・総体予選)での戦績(優勝者)

【申し合わせ事項】

(実施階級・スタイル決定後)

- 強化指定選手は、出場する階級(スタイル)の変更は認めない。
- 強化指定選手は、組合せにおいて第1シードとする。

(代表候補選手決定後)

- 補欠選手の選出
選考会の試合内容や戦績を勘案し、1,2年生の中から優秀な選手を補欠とする。
- 代表候補選手以外の選手がシード権を獲得した場合
強化委員会を開催し、確認の上、代表選手を変更する。なお、これにより他階級のスタイルを変更せざるを得ない場合は、強化委員会で検討し、顧問総会(専門委員会)へ報告の上決定する。
- 代表候補選手が本大会出場スタイルと異なるスタイルでシード権を獲得した場合
シード権を優先させ、出場スタイルの変更を行う。なお、これにより他階級のスタイルを変更せざるを得ない場合は、強化委員会で検討し、顧問総会(専門委員会)へ報告の上決定する。
- 代表候補選手は強化練習会等への参加を義務付け、理由のない不参加や代表として相応しくない行動をとった選手は、代表を取り消す場合がある。